



4月25日

仲良く泳ぐ こいのぼり



子どもの健やかな成長と健康を願って、第12回手作り
こいのぼり掲揚式(西原町社会福祉協議会主催、大城幸
哉会長)が町電設会の協力を得て西原町中央公民館駐車
場で行われました。同式には愛和保育園や西原南幼稚園
など7園の園児が参加し、坂田保育所の代表園児が力を
合わせて大きなこいのぼりを空高く掲げた後、さわりんと
一緒に全園児で元気一杯さわりんダンスを踊りました。こ
どもの日を前に、たくさんのカラフルな手作り鯉のぼりに
囲まれて園児は嬉しそうに歓声を上げていました。

町内児童館でもこいのぼり集会が行われたりん♪



西原東児童館



西原南児童館



坂田児童館

先日、町指定文化財である戦跡壕内の
清掃作業を行いました。
昭和、平成と70年以上も風雨に耐えて
きた壕内のあちこちに、落盤した土砂が
積もっています。「いつまで形を保ってい
られるのか」壕を訪れるたび祈るような
気持ちになります。
西原町内の土は、ほとんどがもろく崩
れやすいニールビ(砂岩)やクチャ(泥岩)
で、字幸地に駐屯した野戦重砲第一連隊
の旧日本兵の手記にも、その様子が記さ
れています。連隊は、東風平村(当時)字
志多伯に南東海域向けの壕を築いて後、
西原村(当時)字幸地に、西南海域向きの
壕を構築します。
初日は、壕を掘った土を捨てるモッコ
編みから始まり、幸地の集落内からワラ
を集めて打ち、皆で編む。
翌日、2mくらい穴を掘ると、上から
ゴソッと大きな土の塊が落ちてくるた
め、場所を変えて4m掘って帰ると、翌日
には縦横に走る土の層がグシャグシャに
落盤している。
さらに場所を変え、今度は落盤防止の
杭木を入れながら掘る。暗い穴に鏡を向
け、反射した光を頼りに掘り進む。穴か
らトロツコの線路を敷いて作業も本格
的となる。ツルハシの先もすぐ丸くなる

文化財コラム

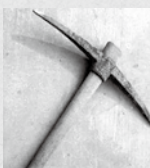
沖縄戦から74年



戦後掘り出された陣地壕。床に杭木片が散乱して
いた。数日後、壕は斜めに落盤して崩れた。



モッコ



ツルハシ

問い合わせ

教育部文化課文化財係
☎944-44998



4月15日

コミュニティ助成事業決定通知式
徳佐田自治会



宝くじの社会貢献広報事業「平成31年度コミュニティ
助成事業」の助成団体に、徳佐田自治会(鳥谷義文会長)
が決定され、西原町役場で決定通知式が行われました。
徳佐田自治会では、地域交流、地域
福祉活動のさらなる活性化のため
運動会用テントやテーブル、イスな
どコミュニティ活動備品の整備を
予定しています。



4月21日

きらきらビーチ海びらき!



マリンレジャーシーズンの到来を告げるきらきらビーチ海
びらきが、クリード西原マリnparkで行われました。同ビー
チは年間80万人以上が訪れる県内有数の人気ビーチであり、
指定管理者クリード沖縄玉城芳信代表取締役社長より「今
年も死亡事故0のビーチを守るため、事故がないよう気を引
き締めたい」とあいさつがありました。当日はダンススタジオ
AIR HEADS、かりゆし太鼓や棚原ミルク太鼓、西原みらい友
好会の獅子舞などのアトラクションの他に、中城海上保安部・
東部消防・浦添警察署・ハートライフ病院合同の訓練が開催
され、日頃の訓練の成果が披露されました。

泳期間:4月21日~10月20日

クリード西原マリnpark
☎944-5589



4月19日
~21日

チャリティー展示即売会で若者支援

町内の才能と意欲ある若者を支援することを目的とし
て、「第22回チャリティー展示即売会」(NPO法人西原町人
づくり支援の会主催)がサンエー西原シティーで開催され
ました。当会は、収益金の一部を町立小中学校への図書寄
贈、大学生への奨学金、芸術・スポーツ等の奨励金に活用
しています。大城誠一理事長は「わったー西原町から輝く
人材が育つように、これからも支援していきたい」と抱負を
述べました。趣旨に賛同した文化協会の会員や芸術家の陶
器やガラス、絵画、書道、手工芸品などの作品が並び、多く
の方が訪れ作品を購入し支援の輪が広がっていました。



4月

ピカピカの1年生 お守り贈呈



西原町内の4児童館で活動するファミリークラブ会員
の母親たちが、町立4小の学校の新一年生の児童のために
手作りのお守り(397個)をプレゼントしました。お守りは
子どもたちの交通安全と健全育成を祈願したもので、子
どもたちが「無事におうちへ帰っ
てくる」ことを願って、カエルのイ
ラストがデザインされています。



※ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、児童館
を拠点として、子どもたちの健全育成を目指して活動しています。